

# 益田圏域(農業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
益田 -1	西いわみ農産物の産地力強化プロジェクト	<p>□時代の変化に即応した生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の初期投資軽減等に向け、益田市で遊休ハウスの調査、リスト化・斡旋を実施することができた。今後、遊休果樹園での取り組みを検討し、益田市農業再生協議会において斡旋調整を行う。</li> <li>・高温対策、低コスト技術実証ほを5つ設置、調査分析に基づく技術確立と普及を進める。</li> </ul>	遊休財産の継承件数	3	4	件	133%	達成
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機・エコ農産物生産の推進、有機農業塾開催等の結果、新規栽培者を3名確保することができた。</li> </ul> <p>□有利販売に向けた販売企画力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規販路の拡大やメロンアイスを始めとした新商品づくりによる西いわみ農産物のPR等、積極的な販売展開を実施することができた。</li> <li>・津和野、吉賀町においては、産直野菜の推進について、コーディネーターと連携し各種研修会、イベント等を実施、生産者、直売所職員の資質向上に繋げた。</li> </ul>	主要品目の販売額	1,209	1,256	百万円	104%	達成
		<p>□持続的産地づくりに向けた担い手の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶどう部会青年部の贈答販売への取り組みや、匹見町わさび生産者組合において1ターン者を中心とした青年部活動が始まるなど、産地活性化に向けて青年組織が主体となった活動が行われるようになった。</li> <li>・ボランティアホリデーについては、高齢者サポートにとどまらず、都市・農村交流、新規栽培者の確保、わさび田復旧による産地再生など、産地の維持活性化に向けた多様な可能性を見出すことができた。</li> </ul>	産地を担う新規就農者の確保数	3	7	名	233%	達成
益田 -2	伸びゆく石西地域の肉用牛プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場活性化策については、概ね計画どおりに実施している、市場価格の下落(特に5月)や上場頭数の確保など課題も継続している。今後も、行動計画に基づき、各種活動を継続する。</li> </ul>	繁殖雌牛頭数	1,453	1,587	頭	109%	達成
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・WCS用稲の栽培面積は、畜産農家の自家利用を中心に増加し、自給飼料の確保に貢献。</li> <li>・また、大型酪農経営体と耕種農家による耕畜連携がスムーズに行われるよう、栽培技術の向上や適期の収穫調製などの支援を継続する必要がある。</li> </ul>	WCS用稲栽培面積	32	37	ha	116%	達成
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥流通対策については、安定的に原料の確保と製造を図り、散布可能な体制整備の検討を継続する。</li> </ul>	(堆肥センター)堆肥供給量	3,800	3,634	t	96%	概ね達成